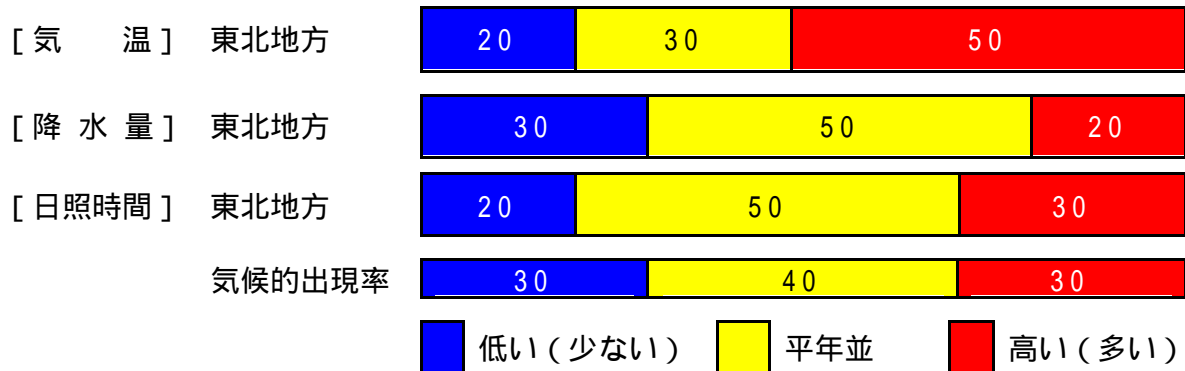


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：7 月 15 日～8 月 14 日）

平成 12 年 7 月 14 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方では「高い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は 30％です。「低い」の可能性は 20％と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「多い」で、その確率は 30％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

期間の初めは前線や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、太平洋高気圧に覆われて平年同様晴れて気温の高い日が多いですが、低気圧や前線の影響で一時曇りや雨の日がある見込みです。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 18 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 前線や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。
(7 月 15 日～7 月 21 日) う。

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 3 日です。

2 週目…………… 前線や低気圧の影響を受け、曇りや雨の日もありますが、平年同様
(7 月 22 日～7 月 28 日) 晴れる日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

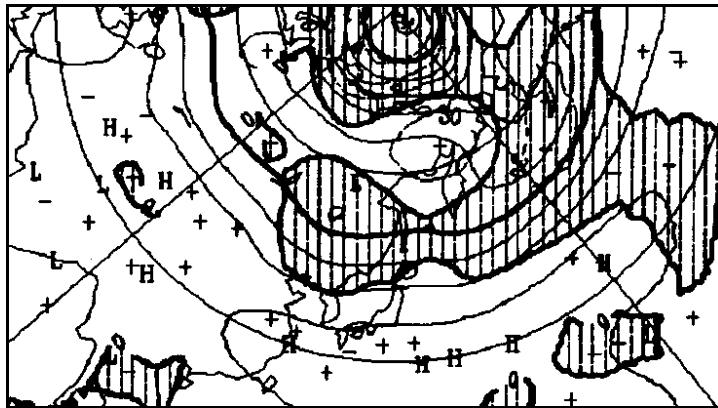
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

3～4 週目…………… 高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、低気圧の影響で、一時曇り
(7 月 29 日～8 月 11 日) や雨の日がある見込みです。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 8 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

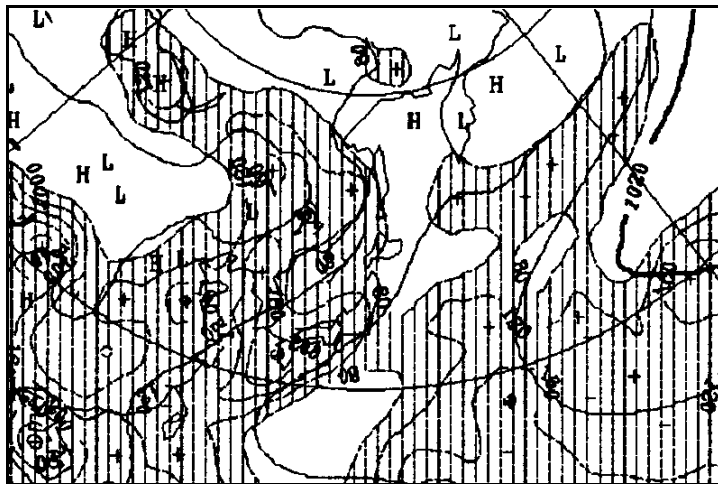


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近は平年並～弱い正偏差。夏型の安定した晴天をもたらす太平洋高気圧は平年より強めで、日本の南岸から中国大陸東岸に張り出す予想。日本付近では偏西風の蛇行は小さく、東西流の卓越する場となり、等高度線の間隔も広いので、低気圧の影響を受けても一時的な見込み。

週別（図略）に見ても、日本付近は正偏差におおわれ、太平洋高気圧の勢力も南で強い予想。



月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・ 地上気圧と降水量

月平均でみると、太平洋高気圧は日本の南へ張り出す。一方オホーツク海には、高気圧が予想されるが、低圧部は中国東北区から北海道の北に延びている。

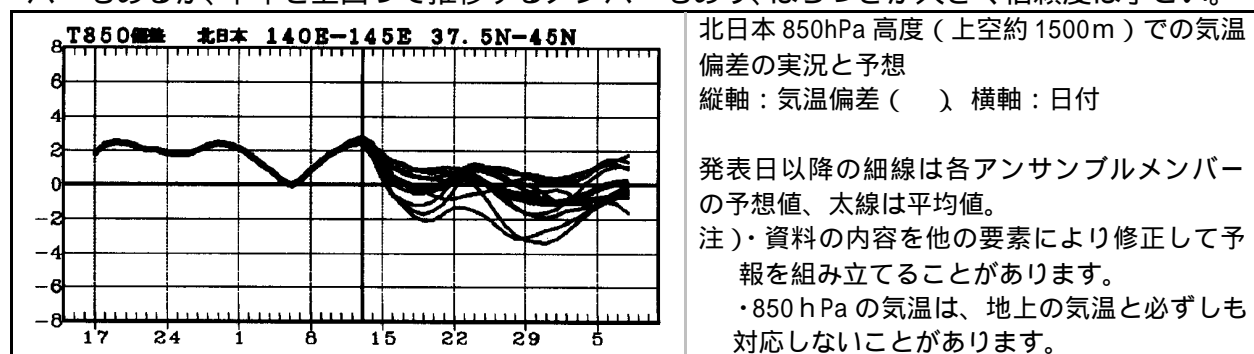
降水域は西日本を中心に広がっているが、東北地方にはまとまったものはかかっていない。

週別（図略）でも、まとまった降水域は東北地方にはかからない。

ただし、太平洋高気圧の縁辺にあたっているため、不安定な天気となる可能性がある。

3. 北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると1週目に高極から平年並となり、2週目後半からは平年を下回って推移する。1週目から強い低温を予想するメンバーもあるが、平年を上回って推移するメンバーもあり、ばらつきが大きく信頼度は小さい。

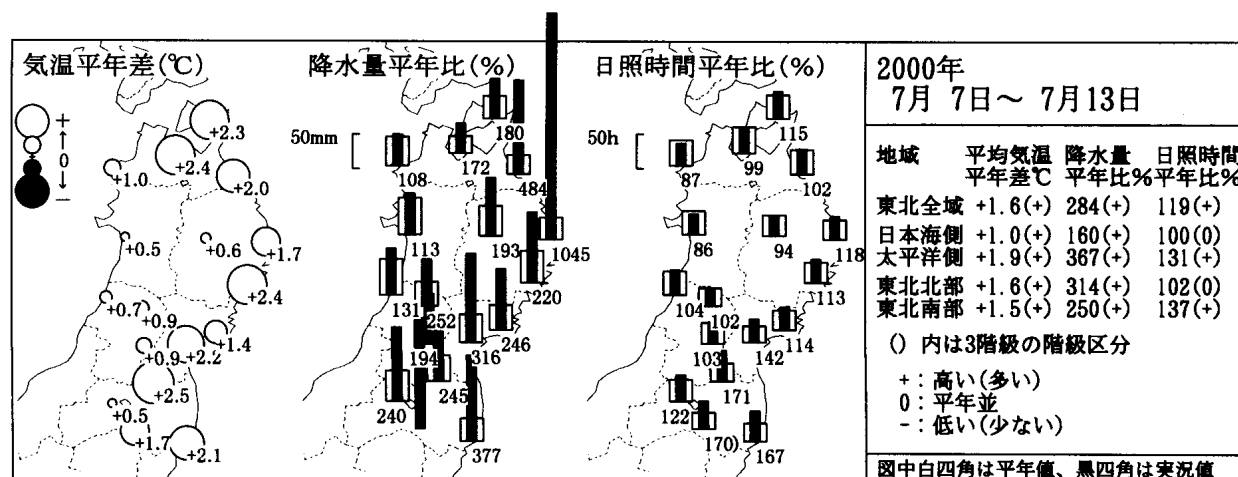


注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4. 最近 1 週間（7 月 7 日～7 月 13 日）の天候の経過

この期間、8～9 日にかけて台風第 3 号が日本のすぐ東海上を北上したため、東北地方は太平洋側を中心に大荒れの天気となった。8 日には日降水量が、宮古で 319.0mm（通年 1 位）、仙台で 124.0mm（7 月として 1 位）、八戸で 112.5mm（7 月として 1 位）などを記録するなど各地で大雨となった。その後、高気圧に覆われおおむね晴れて、真夏日となる場所もあった。12～13 日にかけては上空に寒気を伴った気圧の谷の接近で大気の状態が不安定となり、雷雨となる場所もあった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.6℃と平年より高かった。降水量は、東北地方で平年比 284%と平年より多かった。日照時間は、東北日本海側で平年比 100%と平年並、東北太平洋側で平年比 131%と平年より多かった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5. 梅雨明けについて

	平年の梅雨明け	今年の梅雨明け
東北南部	7 月 23 日頃	7 月 24 日頃
東北北部	7 月 26 日頃	7 月 26 日頃